



今年の一文字

2014年新春特別企画

今年の名張市の世相や抱負などを表す一文字を、市長と市議会議員が選びました



名張市長 亀井 利克

名張市は、本年3月31日をもって市制施行60周年を迎えます。人間で言えば還暦であり、第二の人生として出発する節目の年です。「名張躍進」に向けての土台作りに取り組む中、今年は、これまでの「守り」から「攻め」の市政へと転換を図っていききたい、そんな決意を込めて、「攻」の一文字を選びました。

さらなる70周年に向けて、子どもからお年寄りまで、市民一人ひとりが幸福を実感できる「福祉の理想郷」を実現するため、引き続き行財政基盤の健全化を図りながら、生涯現役のまちの推進、産み育てるにやさしいまちの推進など重点事業を実施していきたいと思っております。



名張市議会議員 石井 政

今年は、「果(はたす)」の一文字といたしました。「果」は、結果、果実、および責任を果たすなどに使われます。政治は、結果責任が問われます。「何を言ったか」ではなく、「何をしたか」が重要です。「アベノミクス」により日本の経済状況が好転しているといわれていますが、地方経済や中小企業、そして私たちの家計にまで及んでいません。「アベノミクス」の結果として、地域や家計にその果実が実ることを期待してやみません。

名張市議会は、出る議会、議員提案による条例制定、本会議のインターネット配信など、積極的に取り組んできました。今後は、反問権の導入、議会報告会の実施など議会の機能強化に向け、より一層改革を果たしてまいります。

2014年新春特別企画

まちなか散策



②山口家住宅主屋

明治初年より旅館業を営み、表側建物は客用と家人用の2つの玄関がある。2階の手摺つき肘掛窓が特徴な、昭和6年の建物

鋳物業として栄え、現在の建物は慶応2年(1866年)に建てられ、連なる蔵を含め、大店としての風格がある。太めの駒寄せ(※1)とさまざまな格子戸が特徴



①梅田家住宅主屋ほか

煙出し
土間などの上に、煙がこもらないように、屋根から出て行くように設けられたもの。



⑦川地写真館

大正10年に建てられ、当時では、珍しい木造3階建て大正ロマンを感じる洋館造り。3階屋根には三角のパラペット(※5)を立ち上げ「K」の文字と飾り立物が特徴



⑧北村酒造酒蔵

千石酒屋として明治初年より栄えた造り酒屋の住宅蔵。大正13年に建てられ、外壁は白漆喰で、腰壁は菱格子の海鼠壁で、壁面から立ち上がる樋受け金物が特徴

旧市街地のまちなかにある初瀬街道沿いには、江戸中期以降に建てられた、歴史的建造物が、いまなお残っています。こうした歴史的建造物を後世に残していくと、市内在住、在勤の建築士で活動する名張・まちづくりの会が、平成19年度から、初瀬街道沿いの歴史的建造物の調査を行っています。

今回は、名張・まちづくりの会の岩見勝田さんの思いと、市内に8カ所ある登録有形文化財(※)を紹介いたします。

ぜひ、初瀬街道を巡るまちなか散策をしてみたいかがでしょうか。

歴史的建造物は国民の財産です

名張のまちなかを歩いてみると、屋根には煙出しや白漆喰の壁など江戸から明治・大正にかけての歴史的に貴重な建造物が、今も多く残っています。この初瀬街道沿いで風情ある町並みが見られるのは、宝永7年(1710)年に起きた大火災以降、大規模な災害や戦災の影響が少なかったからだと思います。市民の皆さんに、そうした文化財を知っていただき、名張を再発見してほしいです。



名張・まちづくりの会 岩見勝田さん (三重県文化財保護指導委員・一級建築士)

(※) 登録有形文化財とは、原則として建設後50年を経過したもののうち、①国土の歴史的景観に寄与しているもの、②造形の規範になっているもの、③再現することが容易でないものを基準として、国(文化庁)が登録したものです。

とれなばイベント
場所 とれたて名張交流館(希央台2)
日時 1月11日(土) 25日(土) 午後1時~3時
日時 1月13日(祝) 午前11時~
▼「まの駅なばり餅つき大会」
(なくなり次第終了)

「消防出初式・一斉放水」を開催

日時 1月12日(日) 午前9時30分~
場所 防災センター(鴻之台1)
◎式典終了後、午前11時45分(予定)には、名張川左岸鍛冶町橋下流において虹色の一斉放水を行います。(雨天中止)



消防救急室
☎ 63-5990

総合体育館・勤労者福祉会館の利用を2月1日(土)から再開します

総合体育館・勤労者福祉会館は、耐震工事のため、昨年8月から3月15日までの予定で閉館していましたが、工事が早期終了する見込みが立まりましたので、2月1日(土)から利用を再開します。
◎2月1日(土)以降の利用申込については、1月16日(土)午前8時30分から受付します。

総合体育館 ☎ 63-5339

歴史講演会 戦国の終焉 大坂の陣

日時 2月1日(土) 午後1時30分~
場所 武道交流館いきいき(蔵持町里)
講師 川崎 記孝(家康を語る会主宰)
◎参加無料。申込不要

家康を語る会(川崎) ☎ 45-3232

「福祉職 de あいフェア ~就職面接会~」を開催

奈良県の北和地域の福祉関係事業所40社の合同就職面接会です。
日時 1月21日(火) 午後1時~4時
場所 奈良ロイヤルホテル(奈良市法華寺町)
対象 福祉職に就職を希望する人(新卒者含む)
持ち物 履歴書
◎参加無料。駐車場無料。JR奈良駅・近鉄新大宮駅から無料シャトルバスあり

ハローワーク奈良・福祉人材コーナー ☎ 0742-36-1601(音声案内で48#)

「皇學館大学ふるさと講座」を開催

日時 2月8日(土) 午後2時~4時
場所 武道交流館いきいき(蔵持町里)
演題 お蔭参りを歩こう
~名張市一の鳥居から~
講師 岡田 登さん(皇學館大学文学部教授)
定員 100人 ※先着順
申込 開催日までに、電話などで問い合わせ先へ
◎参加無料



文化生涯学習室 ☎ 63-7892

入札参加資格者(建設工事・測量・コンサルタント等)の登録申請を受付

市が平成26年6月1日から平成30年5月31日までに発注する入札(見積りを含む)に参加を希望する事業者は、入札参加資格者登録申請をしてください。

受付業種 建設工事・測量・コンサルタント等
受付期間 1月7日(火)から2月7日(金)午後5時(必着)までに、申請書などに必要事項を記入し、郵送で(公財)三重県建設技術センター 入札参加資格登録共同受付担当(〒514-0002 津市島崎町56番地)へ
※申請書類などは、三重県ホームページ「建設業のための広場」(<http://www.pref.mie.lg.jp/kengyo/hp/index.htm>)で出力可
※名簿の有効期間は、平成26年6月1日から平成30年5月31日まで(4年間)
※平成22~25年度の名簿に登録されているものについては、(公財)三重県建設技術センターより平成26年1月上旬に申請手続きに関するお知らせ書類を本社住所へ送付します。送付された書類などを確認の上、受付期間内に更新手続きを行ってください。

契約検査室 ☎ 63-7335

【税申告用】国保税・介護保険料・後期高齢者医療保険料額通知を送付

平成25年中に納付された下記の保険税(料)額の通知を、1月23日(金)に発送します。確定申告などにご利用ください。
なお、いずれも、年金天引き(特別徴収分)納付分は表示されていません。年金の源泉徴収票でご確認ください。

- ▼国民健康保険税額(普通徴収分)のお知らせ
☎ 収納室 ☎ 63-7439
- ▼介護保険料額(普通徴収分)のお知らせ
☎ 高齢・障害支援室 ☎ 63-7599
- ▼後期高齢者医療保険料額(普通徴収分)のお知らせ
☎ 保険年金室 ☎ 63-7105

「第28回名張青蓮寺湖駅伝競走大会」参加者募集

日時 2月23日(日) 午前8時30分~
対象 高校生以上 ※全種目合わせて先着80チーム
種目/参加費 ▼男子の部 6区間/1万円
▼女子の部・男女混成の部 5区間/8千円
※男女混成の部は、賞対象外
申込 1月6日(火)から2月5日(日)までに、武道交流館いきいき(蔵持町里)にある申込書に参加費を添えて同窓口へ



名張市体育協会(武道交流館いきいき内) ☎ 62-4141

伝統行事 新春「どんど焼き」を開催

美旗中村の「どんど焼き」は、350年以上前から続き、お正月のお飾りや前年のお札などをたき上げ、新しい年も無病息災と豊作を願う行事です。



場所 美旗中村農村公園

▼どんどたて 日時 1月11日(日) 午前9時~正午

※青竹約30本、わら、縄などを使い、高さ約17mのどんどを作ります。

▼宵どんど 日時 1月12日(月) 午後7時~10時
※甘酒、豚汁などで「おもてなし」

▼どんど焼き 日時 1月13日(祝) 午前7時~
◎詳しくは、お問い合わせください。

美旗中村どんど保存会(高波) ☎ 090-1982-6108

平成26年度「公共下水道受益者負担の賦課対象区域」を定めました

賦課対象区域 桜ヶ丘、中町、本町、新町、南町、豊後町、木屋町、元町、蔵持町里、蔵持町原出、桔梗が丘西5番町、桔梗が丘西6番町、の一部

上下水道部 営業室 ☎ 63-4111(お客様センター共通)

- ※1 駒寄せ…人家の周りに設けた低い柵
- ※2 ウダツ…屋根に取り付けられる小柱、防火壁、装飾
- ※3 ツシ…2階の階高が低い建物の形
- ※4 虫籠窓…二階にある縦格子状の窓
- ※5 パラペット…屋根に垂直につく壁

荒物商として栄え、江戸後期の建物で、低い煙出し屋根や大屋根より流れるウダツ(※2)の屋根が特徴的な街道沿いの大きな商人町屋である。



③岡村家住宅主屋

江戸時代末期の建物で、低く抑えられたツシ(※3)に漆喰の虫籠窓(※4)、煙出し屋根は当時の一般的な商家として今によく残された代表的な建物



④大和屋店舗

明治22年に建てられた造り酒屋で、低く抑えられたツシ2階に漆喰格子の虫籠窓が特徴。正面流れの長い切妻屋根が建物の大きさを強調し、入り口に土間の大きな店がある。



⑤木屋正酒造店舗兼主屋

明治初めの建築で、業商細川家の分家として建てられ、蔵2棟を有する大型町屋です。現在は地域交流館「やなせ宿」として活用



⑥旧細川家住宅主屋ほか

煙土こかけ

読者の声

広報メールサポーターから...

12-3号掲載「3会場に2日間延べ17万人来場 名張の元氣と魅力を発信！」について ▼おいしいもの食べて、見て楽しんで、体験して楽しんで、名張の良さがギュッと詰まった楽しいイベントでした。 ▼他府県の皆さんに伊賀地域をアピールすることが少しでもできたなら、成功だと思います。